

まちづくり協議会 PR 事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和6年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：142,000円（基金活用額 142,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 妻ヶ丘地区まちづくり協議会は、ふれあいまつり、自治公民館対抗スポーツ大会や健康講座など様々な事業を開催し、地区の活性化に努めているが、まちづくり協議会の存在が地区住民全体に認知されているとは言えず、まちづくり協議会を知らない人も多い。
- まち協とふれあいまつりののぼり旗を作成し、各自治公民館に配布して敷地内に立てもらい、住民への周知を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 妻ヶ丘地区のシンボルマーク、イメージキャラクター「つまっぽ」及びキャッチフレーズを印刷した「まち協」と「ふれあいまつり」のぼり旗をそれぞれ40枚と30枚作成し、各自治公民館に配布した。
- 各自治公民館及び地区公民館に、のぼり旗を掲出することにより、公民館利用者に「まち協」と「ふれあいまつり」を認識してもらい、認知度アップにつなげる。

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗の更新に係わる費用を計画する必要がある。

祝吉地区文化活動活性化事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和4年度

事業主体：祝吉地区まちづくり協議会

事業費：6,278,140円（基金活用額 6,278,000円）

問合せ：☎23-2890

課題・取組の概要

- 祝吉地区では例年11月に「ふれあい文化祭と福祉ボランティアまつり」を開催している。その際、各種展示物を掲示するための展示パネルを中央公民館から借用していた。
- 中央公民館所有の展示パネルは老朽化しているため、運搬や設置を行う際に細かな配慮が必要であった。また借用時期が他地区的イベント等と重なることから借用から返還までの日程調整にも苦慮していた。
- 地区内の各種イベントのために大型パネル100枚、支柱120本、専用台車10台を購入し、活用を図るもの。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 展示パネルを購入し、常備することにより、各種イベント時に迅速に対応できる。
- パネルは重量があることから運搬に係る負担が大きく、役員等の高齢化により年々困難な作業になりつつあったが、解消することができた。
- パネル等を保管するための十分なスペースが必要であったため、祝吉地区公民館内の倉庫を整理し、安全に取り出すことが可能な場所を確保した。

今後の課題・アドバイス等

- 展示パネルは、地区内の各自治公民館や小中学校、商業施設等で行われるイベント開催時に、要請があれば貸出しを行い、地域活性化に寄与することとする。

まちづくり物品庫整備事業



取組地域：五十市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：五十市地区まちづくり協議会

事業費：3,460,000円（基金活用額 3,460,000円）

問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

- 地区公民館の既存倉庫は地区公民館事業、まち協事業それぞれで使用する備品で占められており、これ以上の保管はできない状況である。
- まち協の備品を一元管理する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 3者見積を実施
- 次年度より、管理台帳を整備して適正に管理していく。

今後の課題・アドバイス等

- 地区公民館敷地を使用貸借契約により建築するため土地所有者と事前協議の上、建築確認申請が必要となる。地目が農地等の他法令が関係してくる場合があったりするので、予算確保後に手戻りが生じないよう建築課、農業委員会等関係各所と慎重に、時間的余裕を持って事業を進める。

横市地区まちづくり協議会ホームページ作成事業

Home 横市ガイドブック目次 横市地区の戦前・戦後展 目次 お問い合わせ

yokoichi network



横市地区まちづくり協議会ブロガ
横市ガイドブック
横市地区の戦前・戦後展
広報よこいち

横市地区まちづくり協議会の動き、報告、予定、地域の話題を掲載しています。

横市地区まちづくり協議会は「横市ガイドブック」、「新横市十二景」、「横市地区の戦前・戦後展」等価値のある情報を電子データで保有しており、広く公開する手段がないかと模索していた。

掲示内容の充実、貴重なデータの公開、閲覧者の増加を図りたい。

ホームページを作成することで保有情報及び最新の情報を公開する。

取組地域：横市地区
取組年度：令和4年度
事業主体：横市地区まちづくり協議会
事業費：200,000円（基金活用額 200,000円）
問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区まちづくり協議会は「横市ガイドブック」、「新横市十二景」、「横市地区の戦前・戦後展」等価値のある情報を電子データで保有しており、広く公開する手段がないかと模索していた。
- 掲示内容の充実、貴重なデータの公開、閲覧者の増加を図りたい。
- ホームページを作成することで保有情報及び最新の情報を公開する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 既存の情報をジャンル別に分類し、探しやすい構成にした。
- 動画などを随時公開できるように「動画ちゃんねる」を設けた。
- 広報紙にホームページのURLのQRコードを掲載している。

今後の課題・アドバイス等

- 継続して情報公開する体制の構築が必要
- 地域の話題を画像に残す協力者が必要

横市地区青少年健全育成支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：286,502円（基金活用額 258,060円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区青少年育成協議会が所有する餅つきの道具などの備品を役員が自宅で保管していた。
- 横市地区青少年育成協議会が主催する行事の横断幕の作成に苦慮していた。
- 横市地区青少年育成協議会に必要な備品及び施設を購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 安価で移動可能なコンテナ倉庫を購入した。
- 横市地区青少年育成協議会に管理を依頼した。

今後の課題・アドバイス等

- 将来的にも適当な倉庫の設置場所が確保できるかを考慮する必要がある。

広報宣伝活動充実事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,014,618円（基金活用額1,010,523円）

問合せ：☎25-2257



課題・取組の概要

- 広範囲にタイムリーな情報を伝えることは難しい状況にあった。
- 総会などの行事で使う横断幕等を作る手段がなかった。
- ポスターや横断幕等を自ら作成できる大型プリンターを導入するもの。
- まちづくり協議会及びまちづくり協議会加入団体の広報活動の充実を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 行事の際にタイムスケジュール等を大きく掲示できる。
- 講演会、総会等で横断幕、垂れ幕の作成が容易である。
- 地区の敬老会等の横断幕に自治公民館などの団体が活用している。
- こけない体づくり講座などの際に図解した絵などを大きく掲示

今後の課題・アドバイス等

- 維持費が継続して発生する。
- 使用頻度を年間通して保ちたい（インクの目詰まり防止）。
- 繁忙期の対応が遅くなることが考えられる（まち協所有のパソコンだけにドライバーがインストールされている）。

自治公民館備品充実支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,281,500円(基金活用額 1,278,508円)

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 自治公民館活動ではこれまで座机が主であったが、最近では、腰・膝の負担の少ない高机・いすを要望する声が多くなっている。
- 折りたたみ椅子・折りたたみテーブルの購入

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館の希望を基に備品の配付を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 購入した備品は各自治公民館が管理する。

おきみず文化マップ制作事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和4年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：330,000円（基金活用額 269,500円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 過去に作成した文化マップの在庫がなくなったことや、地域内に新しい施設や道路建設が進むなど、街の様子も変化していることから、新たに文化マップを作成した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内の文化資源等をスマートフォンで検索できるようにQRコードをマップに掲載
- 環境対応紙（ストーンペーパー）という水にぬれても破れない紙を採用し、A2両面をA5サイズに折込み製本したマップを公民館加入世帯、小中学校、道の駅都城へ配付
- 掲示用にラミネートしたA2版片面を各自治公民館、小中学校、道の駅都城に配付
- 更にA2版片面をA6に折込み製本したポケット版を小中学校、道の駅都城へ配付した。新たな地域の魅力発見と地域の認知度アップ向上に寄与すると考える。

今後の課題・アドバイス等

- 記載内容の定期的な更新が必要となる。
- 文化マップの活かし方、マップ配布・PR方法

志和池地区開催行事支援事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和3年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：790,240円（基金活用額 790,240円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 近年の温暖化に伴い、屋内外で開催される地区内の六月灯、盆踊り、文化祭、学校行事等での熱中症及び感染症が危惧されていた。
- 各行事に参加される方が、安心・安全に参加できるように熱中症等の予防のためにミストファン4台を購入した。あわせて、屋外開催時の電源確保のため、自家発電機4台も購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 六月灯や学校の運動会の暑さ対策として利用され、非常に喜ばれている。
- 電源確保が困難なところでは、自家発電機を利用してミストファンを利用されていた。また、自家発電機は、ミストファンだけでなく、地区の墓地清掃作業等にも利用されていた。

今後の課題・アドバイス等

- 貸出時に取扱上の注意事項を渡しているが、ミストファン本体が重いため、積み込みや収納の際、扱い方が悪く、スイッチの接触不良が発生して修理（約3万円）したものがあった。今後も同様の事がないよう注意喚起していく必要がある。
- 年度当初に幼稚園、学校、社協連関係団体等に有効活用のお知らせ文書を送付しているが、利用団体が少ない状況である。今後も利用促進のため、周知を図っていく必要がある。

地域ふれあい文化振興事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和3年度・令和5年度

事業主体：志和池地区社会教育関係団体等連絡協議会

事業費：4,018,784円（基金活用額4,012,800円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 毎年11月に志和池中学校体育館をメイン会場に、志和池地区ふれあい文化祭を開催し、芸能発表や出品作品（保育園児から高齢者まで）を展示して多くの来場者で賑わっている。
- 作品展示用の座卓、折りたたみ机・イス、パネル等が老朽化により劣化していた。
- 令和3年度に座卓15台、折りたたみ机70台、折りたたみイス120脚、令和5年度にパネル100枚、ポール62本を購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 文化祭での作品展示用に有効活用され、喜ばれている。
- パネルは、学校の文化祭や志和池水彩画展示会等に、机・イスは、公民館行事等に貸し出して有効活用を図っている。
- 既存のポールで使えるものは活用し、事業費圧縮に努めた。

今後の課題・アドバイス等

- 机の重さは、更新前とあまり変わらないため、もう少し軽量化できれば、運搬しやすくて利用者も増えるのではないかと考える。

新発見パネル整備事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和4年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：2,618,550円（基金活用額 2,618,550円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 志和池の史跡や郷土芸能等の情報発信のため、令和2年度に地域活性化事業で「志和池の宝」のポスターを作成したが、もっと志和池地区内外の人に情報発信する必要があった。
- 「志和池の宝」を屋外用にパネル化し、人目に付きやすい公共施設等（志和池地区公民館、志和池地区市民広場、志和池中央ふれあい広場、志和池校区内小中学校）に設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 屋外に設置したことにより、志和池に来訪された方にも目につきやすくなり、「志和池の宝」の情報発信に繋がっている。
- 地元にあまり知られていない「志和池の宝」を地元の人があらためて知るきっかけ作りの一役を担っている。
- 令和2年度のポスターのデータを活用、編集することにより事業費圧縮につながった。

今後の課題・アドバイス等

- パネル設置場所については、各施設管理者と協議し、行政財産目的外使用許可や公園占用許可の必要があり、毎年更新していかなければならない。

まちづくり環境整備事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和6年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：529,551円（基金活用額 529,551円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

○本協議会の既存の倉庫内には、盆踊り大会や文化祭で使用する旧式の重い脚折たたみ高机や折りたたみ椅子を多数格納しているが、置く場所に制限があり、移動が容易でなく、デッドスペースが発生しており、有効活用ができていない状況であった。

○活動に必要な備品等が増加する中、収納率をアップさせるため、今回、必要台数の半分の可動式の机用台車3台と椅子用台車3台を購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○脚折たたみ高机や折りたたみ椅子の移動が容易になったため、備品の出し入れ等が楽になり、収納率アップにもつながっている。

今後の課題・アドバイス等

○今回は、必要な稼働式台車の半分を購入したが、今後の状況によっては、残りの台数も購入する必要がある。

西岳地区文化交流事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和4年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：350,601円（基金活用額 350,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区ではふれあい文化祭・はるおさんげえ・ふるさと探訪・グラウンドゴルフ大会等において地元協力の元に準備を行ってきたが、超高齢化に伴い年々準備も厳しくなってきていた。
- 今後もふれあい文化祭などを継続する為に準備の負担軽減となる備品、簡易大型テント2張・草刈り機2台を購入した。

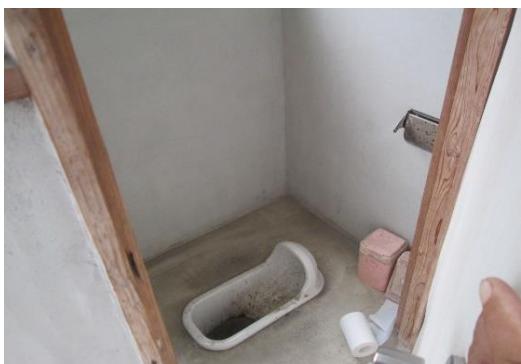
成果・事業の特徴・工夫したこと

- ふれあい文化祭・グラウンドゴルフ大会などのテント設営時に今までの6名によるテント組立ではなく、2名だけの設営が可能となったので非常に楽になったとの意見が聞かれる。
- 催しの準備段階から何度も気楽に利用できる草刈り機が購入できたので、現場の維持管理状態が大変良くなった。

今後の課題・アドバイス等

- 個人の備品ではないために、乱暴に取り扱わないように毎回注意をして、貸出簿による適正な管理と使用後の目視等による徹底管理をしていかなければならない。
- 他団体でも利用できるように周知を図ってく必要がある。

西岳地区公民館いきいき環境整備事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和5年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：1,434,454円（基金活用額 1,400,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区的自治公民館ではこけない体操・いたみみろ会・市長と語る会・敬老会・室内レクリエーション等の多くのふれあい活動を公民館内で行っているが、西岳地区は超高齢化であり杖を突いて来られたりする足・腰・膝の不自由な方が多くいる。その方が自治公民館で一番困るのはトイレが和式仕様になっていることであった。
- 今回は西岳地区的4自治公民館の和式トイレを腰掛けタイプトイレに変更することにより、高齢者が喜んで安心してトイレに行けて、一層集合しやすい生活環境の充実が図られた。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 今まで地元負担を伴いトイレ改修を行ってきた自治公民館の同意を得なければならなかつた。
- 西岳地区でトイレ改修に取り組める業者が少なかった。

今後の課題・アドバイス等

- 自治公民館によっては分館もある自治公民館が存在しているので、他箇所も検討課題である。
- なるだけ多くの業者に見積りを取っていくと良い。

地域環境整備事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和6年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：4,050,000円（基金活用額 4,050,000円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区は超高齢化しており、高齢者の死亡及び施設入所等により人口減が深刻な状況となっている中で、降雨時の道路への崩土を行政が対応するまでの応急除去工事、用排水路の大雨前の堆砂除去、環境美化の日の雑物収集除去などで小型タイヤショベルを利用するにより、高齢者を除く少ない自治公民館員で作業対応が可能となってくる。
- 今回は機動性や安定性に優れている小型タイヤショベルを導入することにより、災害発生時の緊急的な道路往来や地区全体の安全が守られて、地区住民の安心につながっていく。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- タイヤショベルが納入され、より多くの人が活用できるように小型特殊運転講習を受けてもらい、免許を取得してもらった。
- 車両を長く維持できるように別事業で車庫を整備し、バッテリーがあがらずにいつでも使用できるように簡易ソーラーパネルも設置した。

今後の課題・アドバイス等

- 管理の徹底と仕様規約を作成して、車両の長期使用を可能としていく。

中郷地区PR事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和5年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：6,215,000円（基金活用額 6,050,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

- 歴史的・文化的名所巡り等で中郷地区を訪れる人が気軽に使えるトイレがない。
- 興玉神社内にあるトイレは階段を上ったところにあり、身障者は利用ができない、汲み取り式で衛生上好ましくない。
- 興玉神社北側の駐車場内に公衆トイレを設置する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 車椅子等の体の不自由な方や乳幼児を抱えた方のトイレの利用が可能になった。
- 夜間のトイレ利用が可能になった。

今後の課題・アドバイス等

- 水洗トイレを設置したことによる光熱水費等の負担と定期的な清掃業務の実施
- いたずら等による修繕工事の対応

中郷地区 PR 看板整備事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和6年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：2,339,370円（基金活用額 2,100,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

- 中郷地区内に都城志布志道路のインターチェンジが2か所設置されることにより、都城志布志道路を使って中郷地区を訪れる来訪者に対し、地区をPRし、知名度向上と観光振興を図る。
- 既設のPR看板は設置後40年が経過しており、傷みが激しく、表示内容も確認しづらいため、全体的な修繕が必要であった。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 中郷地区をイメージしたシンボルマークを作成し、看板に取り付けた。
- 車から看板が目に入りやすい場所を選定し、看板を設置
- 看板の表示内容を一目で確認できるデザイン・色を配置

今後の課題・アドバイス等

- 暗くても看板の内容を確認できるような仕組み（ライトアップ・蛍光色等）を今後検討
- 作成したシンボルマークの活用

山之口よかとこPRビデオ製作事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3～4年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,606,000円（基金活用額1,606,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 令和3年度、史跡・文化財や名産品・食文化を紹介するPRビデオを製作するため、秋から冬の収録を行い「山之口よかとこお散歩 MOVIE 女子旅編」を製作
- 令和4年度、春から夏の収録を行い、令和3年度に製作した動画と合わせて一年をとおしたPRビデオの製作を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページ、Youtubeで情報発信を行った。

今後の課題・アドバイス等

- ホームページ、Youtubeの周知を行う必要がある。

リモートコミュニケーション事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：880,935円（基金活用額 880,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- リモートコミュニケーションツールを整備して、各種講演会、学習会、会議実施により支援を行い地域活性化を図り、コロナウィルス禍にあっても事業を推進する。
- 山之口地区まちづくり協議会リモート会議に活用する。（役員会、全体会、総会）

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口地区まちづくり協議会リモート会議を開催（役員会、全体会）
- コロナ禍にあってもリモート会議が開催できる。
- 小中学校の総合的学習と連携し、地域内の歴史、史跡、文化財の学習に活用する。
- パソコン教室等開催する。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理体制のため、備品台帳を整備し管理を行う。また、経年劣化への対応が必要となる。
- 機材を活用した活動の推進、まちづくり協議会委員の機材取扱方法の習得の必要がある。

山之口よかとこマップ作成事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和3年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：503,800円（基金活用額 503,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 多数の民俗芸能があり、長い歴史と自然に培われた史跡・天然記念物があるが広く知られてない。
- 史跡や文化財、名産品、食文化の地域資源の「よかとこマップ」を作成し、情報発信を行う。
- 町内全戸配布、公の施設に配布し、ホームページで紹介を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 史跡・文化財、名産品、物産販売所や公共施設等をイラスト、写真に分けて紹介
- イラストを使用することで優しくソフトな感じにし、持ち歩きやすいサイズに折り込んで作成した。
- 町内外の公の施設等に配布を行い、広く周知を行った。
- まちづくり協議会のホームページで紹介を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 紹介、PRすることで訪れる人が多くなるため、適切な管理が継続的に必要になる。

山之口 PR パフォーマンスロボット製作事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,793,000円（基金活用額 1,738,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 山之口キャラクター3体のゆるキャラロボットに民俗芸能を踊らせ地域の情報を発信
- 将来的には、人形の館・弥五郎どんの館など、観光案内をロボットで実演し、PR活動の多機能化を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 弥五郎どん音頭のデジタルデータを編集フォーマットして、パフォーマンスロボットが踊るようにした。
- みやこんじょ弁ラジオ体操第1を映像等からデータ化して踊るようにした。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理が継続的に必要である。
- ゆるキャラロボットで、PR活動の多機能化を図る必要がある。

山之口 PR パフォーマンスロボットインテリジェント化事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：423,500円（基金活用額 423,300円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

○山之口PRパフォーマンスロボットに人形の館、弥五郎どんの館を案内させ、山之口PR活動の多機能化を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○「山之口麓文弥節人形浄瑠璃調査報告書」と「日向の弥五郎人形行事調査報告書」の電子データ化を行った。
○文化財情報も含めAIアプリケーションを活用し、学習させた。

今後の課題・アドバイス等

○適切な管理が継続的に必要である。
○ゆるキャラロボットで、PR活動の多機能化を図る必要がある。

山之口地区観光施設バーチャルツアー製作事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：682,000円（基金活用額 648,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

○現実の場所をリアルな体験を通じて探索できるバーチャルツアーが可能であるので、VR技術を活用し、デジタル空間でPRを図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○見頃のあじさい公園の写真、映像を利用してバーチャルツアーを製作

○あじさい公園に実際にいるかのような体験を提供する。

今後の課題・アドバイス等

○春夏秋冬の風景写真をバーチャルギャラリーに展示し、観賞できるようにする。

○デジタル空間でPRを行うので、利用していただくよう広く周知が必要となる。

まちづくり協議会活動充実事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：599,390円（基金活用額 599,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

○コロナウイルス感染症により、イベント開催時の飛沫防止、また、イベントを積極的に開催するために移動用の放送機器（ワイヤレスアンプ・チューナー・マイク等）を整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○移動用放送機器を整備したことで、各種団体から貸出しの申込みが多くなり、イベントなどで活用されている。

今後の課題・アドバイス等

○新型コロナウイルス感染症の拡大が沈静化すると更に貸出しの要望が多くなるので、適正な管理を継続する必要がある。

有水地域活性化事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和4年度

事業主体：有水おもてなし隊

事業費：1,840,850円（基金活用額 1,840,000円）

問合せ：☎080-5603-9016

課題・取組の概要

○過疎化により衰退の一途をたどる有水地域が元気になるようにと、2013年から毎年、クリスマスシーズンになると有水小学校敷地内のモミの木にイルミネーションを装飾する活動を続けている。イルミネーションは、有水のシンボルとして好評を得ているので、事業を継続し、イルミネーションの整備を進めるものです。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○イルミネーションは地域住民から有水のシンボルとして認知され、好評を得ているが、経年劣化によりLEDランプの球切れが多く発生しているので、今後も事業を継続するため、イルミネーションの整備を進めていく。

○LEDランプに換えることで、省エネ、コスト削減の効果が見込まれる。

今後の課題・アドバイス等

○今後、LEDランプの球切れがほぼ同時期に発生し、イルミネーションを更新することになるので、係る費用等について検討する必要がある。

高城地区イベント推進事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：674,146円（基金活用額 674,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

○高城地区では、各種団体によるイベントが多数開催されていたが、新型コロナ感染拡大でイベントの中止や規模縮小の対策をとってきた。

○コロナ収束後に地域の活動を活発化するために、各種団体等が独自のポスターや看板を作成し、集客数増加と事業の充実を図るために大判プリンターを整備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○本事業を実施することにより、各種団体の事業費縮減の効果が見込まれるとともに、地域活性化を図ることができた。

今後の課題・アドバイス等

○消耗品を含め維持費が継続して発生する。

高城地区ふるさと教育推進事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区青少年育成連絡協議会

事業費：188,320円（基金活用額 188,000円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

- 高城地区内の各小中学校において、学校別にのぼり旗を制作し、地域との交流活動や学校行事等で活用する。
- また、高城中学校は、高城町の素晴らしさを発信するための観光パンフレットや創作物等を制作し、地域のお世話になっている方へ配付する。今後は、地域の行事、修学旅行でのPR活動などで活用していく。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 事業実施により、次代を担う生徒等が学校別ののぼり旗や観光パンフレットや創作物（うちわ）を製作することで、高城地区に愛着を感じ、地域の素晴らしさを認識できることで、地域活性化に貢献している。

今後の課題・アドバイス等

- 各学校での維持管理と引継ぎを確実に行ってもらう。
- 経年劣化のため定期的な更新、補充が必要となる。

有水地区地域交流活性化事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和6年度

事業主体：ありみずマツリツクル*プロジェクト

事業費：1,591,103円（基金活用額 1,581,000円）

問合せ：☎58-2311

課題・取組の概要

- 有水地域では、毎年夏まつりを開催しているが、トラックの荷台をステージとして利用している。
- 運送業の2024年問題等でトラックの調達が難航し、代替ステージの手配や追加費用の発生が予想される。
- トラックに代わる簡易ステージを整備することで、このトラック調達の課題を気にすることなく「まつり」を開催することができるようになる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 人力での組み立てが可能な簡易ステージを確保・調達することで、屋外イベント実施が容易となり、イベント開催の負担軽減と、イベント開催による地域交流・活性化が図れる。
- ステージは、人力による組立が可能な1m四方のブロックを組み合わせるタイプを採用することで、ステージの広さを調整できることから、規模や用途に応じて多くの場面で利用できる。

今後の課題・アドバイス等

- 適切な管理体制のため、備品台帳並びに使用簿等を整備し管理を行う。また、経年劣化への対応が必要となる。

山田地区広報誌発行事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和3年度～令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：4,509,257円（基金活用額 4,504,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 山田地区は高齢化率が高く、高齢者のみの世帯や独り暮らしの高齢者も多く、情報が得られず孤立してしまう傾向がある。
- 地域の広報誌「山田いきいき通信」を毎月発行(2,800部)し、各自治公民館長の協力により各戸配付している。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域の身近な出来事や話題を提供することにより、社会や地域の連帯を生む「絆」がつくられている。
- まちづくり協議会内の地域・広報部会で組織し、製作している。
- イベントの告知や各種サークルの紹介等地域の情報を提供し、有効に活用されている。

今後の課題・アドバイス等

- 今後も継続して発行していくこととしているが、編集委員（公募）が月2回程度集まり、原稿作成、校正及び発送準備等を行っており、委員の負担も大きい。
- 自治公民館未加入者や町外者への情報発信の方法として、掲示施設を増やし、幅広く見てもらえるよう検討していく。

山田地区イベントカレンダー作成事業



2024年1月(暦月) あけましておめでとうございます 令和6年						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2024年2月(暦月) 令和6年						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：205,000円（基金活用額 205,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 学校、施設、団体などの行事・イベント情報がまちまちで共有されていない。
- 地区の行事やイベントカレンダーを作成配布することで、地域の住民が情報を共有する。
- 住民参加の意識を高め合い、参加を促し、地域イベントの活性化につなげる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 原稿依頼書を作成し、学校、各団体等に情報依頼するが、回答が遅い。
- 作成時期と情報取得のタイムラグ
- いきいき通信の校正会議の時に、部員にも校正をしていただくことで更に正しい情報を載せることができた。

今後の課題・アドバイス等

- 予算面の問題
- いきいき通信との共有化ができないか。

高崎地区民生委員児童委員活動充実事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高崎地区民生委員児童委員協議会

事業費：208,450円（基金活用額 208,450円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

○高崎地区内の方々に、民生委員児童委員の存在や活動の周知を図る必要があった。

○ジャンパーのデザイン等を企画委員会で検討し、30着（胸面プリント）製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

○統一したジャンパーを着用することにより民生委員児童委員活動のPRを行う。

○民生委員児童委員であることが一目でわかり、地区の方も安心して接することができる。

○民生委員児童委員協議会の役員において貸与簿を作成し、委員交替時に対応できるようにサイズの管理を行っている。

今後の課題・アドバイス等

○今後の更新時期に備え、財源確保が必要

「たかざき MAP」リニューアル事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：308,330円（基金活用額 308,330円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

○令和2年度に作成した「たかざきMAP」の在庫がなくなったことと、掲載している内容が現状に合わなくなつたため、「たかざきMAP」をリニューアルした。

○規格（A3 三つ折り カラー刷）で7,000枚製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

○「たかざきMAP」にQRコードを掲載し、高崎地区まちづくり協議会ホームページとリンクさせることにより、ホームページの閲覧を促す工夫をした。

○「高崎夏まつり」に、JR吉都線を利用して来られた町外からの来町者に対して、高崎新田駅構内で「たかざきMAP」を配布

○町内各世帯、星の駅「たかざき」、金融機関、郵便局等へ配布

今後の課題・アドバイス等

○記載内容の定期的な検証、更新が必要

たかざき施設案内パネル設置事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎地区まちづくり協議会

事業費：432,003円（基金活用額 432,003円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 令和2年度本事業で、「たかざきMAP」と連携した地域内の各種施設を紹介するパネルを作成し、多目的研修集会所及び市民広場に設置した。
- 令和6年度事業でリニューアルした「たかざきMAP」と連携した地域内の各種施設を紹介するパネルを作成し、高崎地区内の小中学校や総合支所など11か所に設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- QRコードを掲載し、高崎地区まちづくり協議会ホームページとリンクさせることにより、ホームページの閲覧を促す工夫をした。
- 小中学校の校内に設置することにより、児童生徒が地域内の各種施設や史跡、文化財などについて知り、学ぶことのきっかけとなった。
- 高崎新田駅構内に設置し、JR吉都線を利用して来られた方に高崎町をPR

今後の課題・アドバイス等

- 記載内容の定期的な検証、更新が必要